

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 森の宮福祉会	代表者	石塚 克哉	法人・事業所の特徴	基本理念「笑顔・まごころ・ハーモニー」を念頭に寄り添う介護、支援を職員一同取り組んでいます。「通い」を中心に「訪問」「泊り」を組み合わせたサービス提供を行っています。音楽を取り入れたリハビリやレクリエーションにも力をいれています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ハミングベル緑橋	管理者	小栗 健太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	4人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部研修へ参加しやすい体制を整え職員のスキルアップを目指す。	前年度よりも外部研修に参加した職員が増えた。 前年度1→今年度6	忙しい中情報を共有して記録に残すのは困難だと思います。今、良いアプリ（音声文字変換）があるのを活用できないか。	利用者についての報告や申し送りが他利用者に聞こえないように配慮する。また日々の終礼等を通して注意喚起する。
B. 事業所のしつらえ・環境	来所時や送迎、訪問、電話対応時などの挨拶時に笑顔で明るいトーンの声を意識して、来てもらいやすい事業所を目指す。	利用者アンケートより、訪ねやすいかとの問いに、半数以上の半数以上の方が行きやすいと返答くださった。	事業所を訪問する時は何か用事のある時なので特に入りやすい工夫は必要でしょうか？入りにくいことがなければ十分だと思います。	明るい雰囲気を持ってもらえるように、日頃からの挨拶や外周掃除などにも気を配るようにする。室内の環境も危険な所がないか点検を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	感染症対策の緩和の状況をみながら、地域との関りを増やしていく。	町会や商店街のイベントなどの集まりに職員が参加し地域との関りを持っている。	挨拶はできていると思います。忙しいとは思いますが地域の活動に力を貸していただけると有難いと思います。	地域の一員であることを忘れずに、近隣の方に対しても笑顔と挨拶を行い、困りごとがあれば相談しやすい関係を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染症対策の緩和の状況をみながら、外出の機会を増やし地域との繋がりを増やしていく。	地域のイベントに利用者と共に参加した。またスーパーなどにも利用者と共に出かけている。	ふれあい広場に参加している。地域行事に参加する機会が増えるといいですね。	馴染みのある場所への外出の機会を作ることや地域の資源を活用した支援を行い地域との繋がりを増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み	集合開催での運営推進会議を再開し、構成員の方々から直接意見をいただく。	今年度より、集合型の地域運営推進会議を再開した。いただいた意見は、改善できることから実施している。	活動報告は映像で見せて頂きよくわかります。地域の方の相談は個人情報もあるので難しいと思います。	運営推進会議を通して地域の現状を知る。また地域の困りごとがあれば協力して取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	B C P（事業継続計画）を作成し、計画に沿った運営を行う。	現在、作成中だが今年度中には完成し有事には計画に沿って事業を行っていく。	施設がある1町会は事業所が行う防災訓練に参加されていてお互いに助け、助けられる関係を構築されているのかと思う。	B C P（事業継続計画）に沿った対応ができるように、研修・訓練を実施していく。